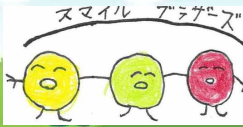


〈世帯配布〉

学校だより

令和5年2月



朝が来る

努力点特集号

名古屋市立本地丘小学校



HPはこちら

〈令和4年度 本地丘小学校 学校努力点〉

「学びを深めることができる授業づくり」

～ 「なかまなビジョン+(プラス)の学習過程を大切にしてい

名古屋市では、よりよい子どもたちの成長を目指し、学校ごとにテーマを設定し、「努力点研究」という名のもと、研究を進めています。

本校では、今年度、名古屋市の重点である「なかまなビジョン+(プラス)」で示されている授業づくりの考え方に基づいて、よりよい授業を考えていきました。「なかまとの対話を大切にしたい主体的な学び」にするために、タブレットPCの活用やよりよい対話のあり方などの視点をもって研究を進めました。

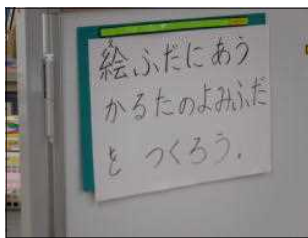
今回は、今年度の取り組みを全部まとめてお伝えします。子どもたちの成長や、その背後にある先生たちの工夫や頑張りを見ていただけたら幸いです。

「なかまなビジョン+(プラス)」の学習過程を大切にしてい

各学級の授業の様子は中をご覧ください

★ めあてをつかむ

「これまでの学習を基に、平行四辺形の面積を求めよう」「なぜ、名古屋港は発展したのだろうか」と、単元のゴールに向けての見通しや、明らかにしたいと思う問いをもたせませます。めあてをはっきりさせることで、「できるようにになりたい」という思いも高まっています。



★ なかまと対話する

一人一人が調べて発見したり、考えをもちたりした上で、友達と対話をします。「〇〇さんの考えを聞いて、～ということに気付いたよ」と、ペアやグループで考えを聞き合い、自他の考えのよさに気付くことで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。



★ まとめる・振り返る

「今日の授業で・・・ということ学んだ」と、めあてに対するまとめを子ども自身が自分の言葉で表現します。さらに、新しく分かったことや疑問を友達に説明するなどして振り返ることで、次の学びにつなげていくことができます。



よりよい授業を目指して

授業実践を行う前には「授業を通してどんな力を付けるか」、授業後には「授業の成果と課題」を部会ごとに話し合っています。「かしこい子ども」を育てるために、先生たちも「かしこく」なれるよう学び続けています。



